



鳴門市水道事業ビジョン



平成28年3月

I. 水道事業ビジョン策定の目的

水道事業が抱える課題

- ・人口減少に伴う料金収入の減少
- ・施設の老朽化
- ・危機管理対策
- ・水環境の変化に対応した水質管理の強化
- ・多様化・高度化する利用者ニーズへの対応

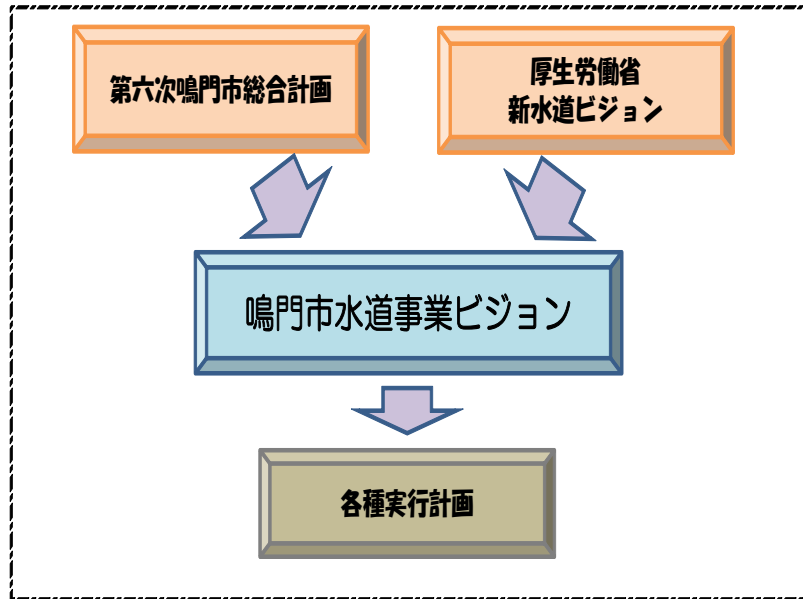
国は50年後、100年後の将来を見据え、水道の理想像を明示するとともに、取り組みの目指すべき方向性やその実現方策、関係者の役割分担を提示した「新水道ビジョン」を策定

状況の変化に対応した新たな施策の必要性

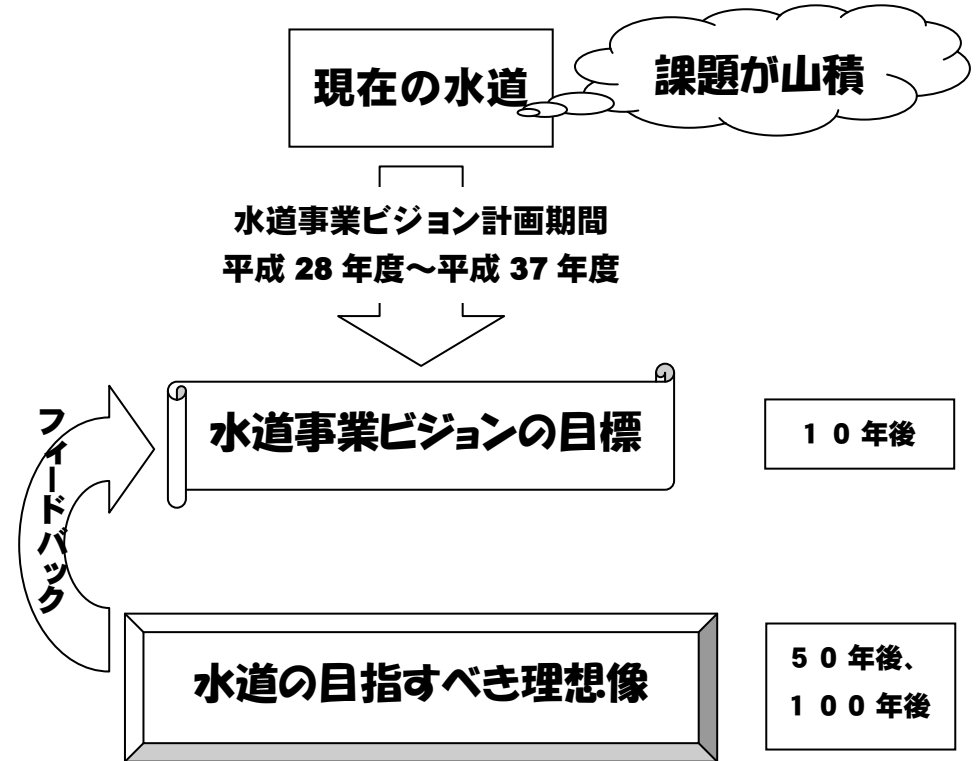
「鳴門市水道ビジョン」の見直しではなく、新たに「鳴門市水道事業ビジョン」を策定し、本市における水道の目指すべき理想像を示し、その実現のために、現状分析と課題抽出を行い、今後取り組むべき方策を定める



鳴門市水道事業ビジョンの位置付け

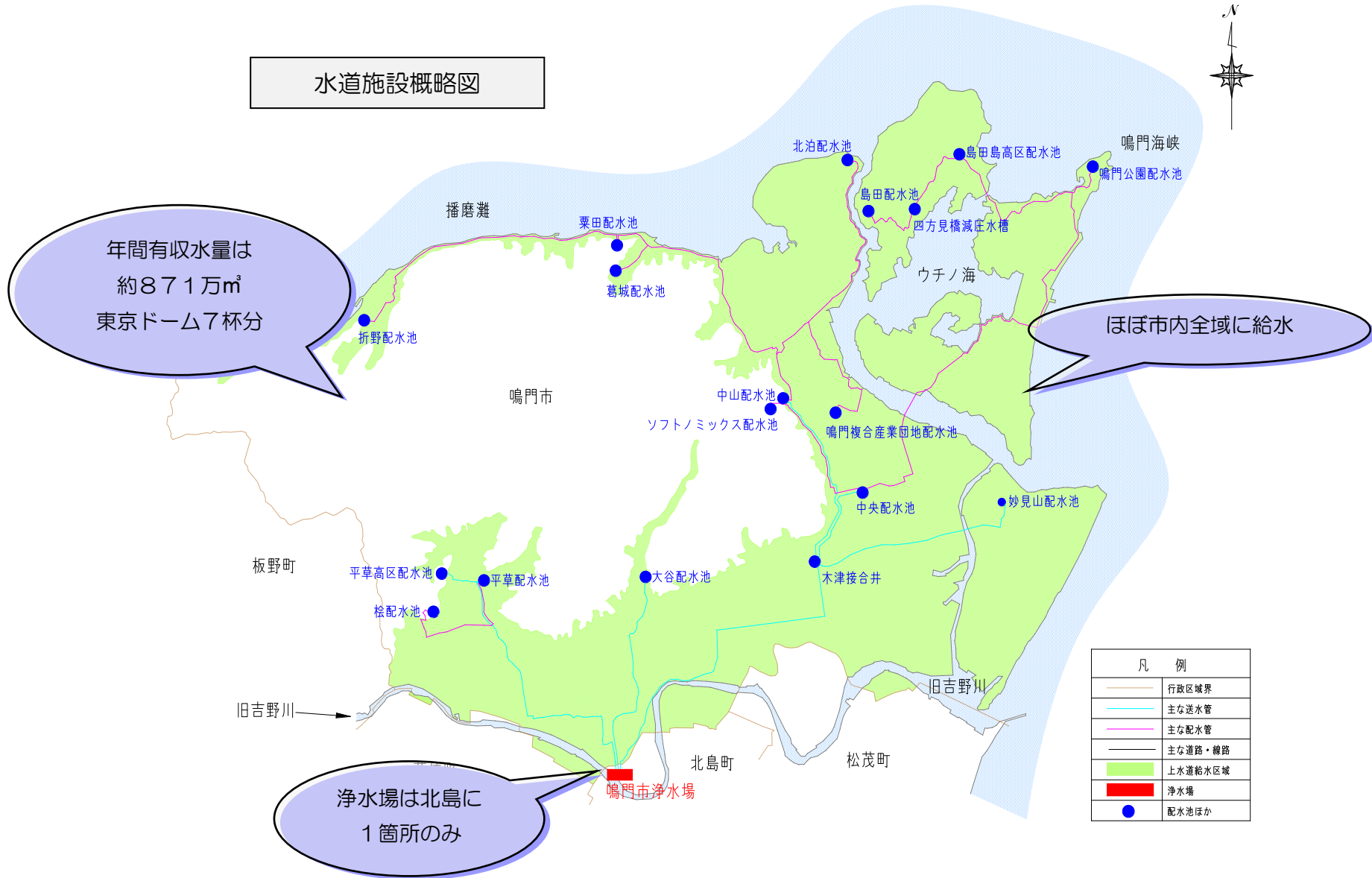


鳴門市水道事業ビジョンのイメージ



Ⅱ. 本市水道事業の概要

水道施設概略図



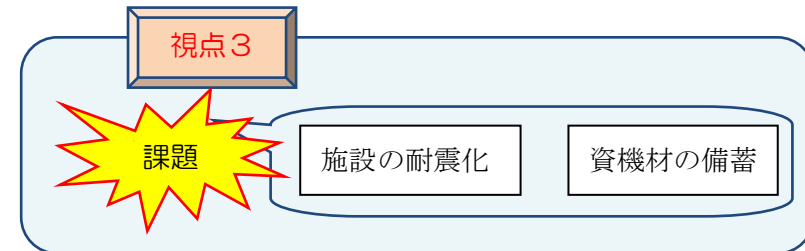
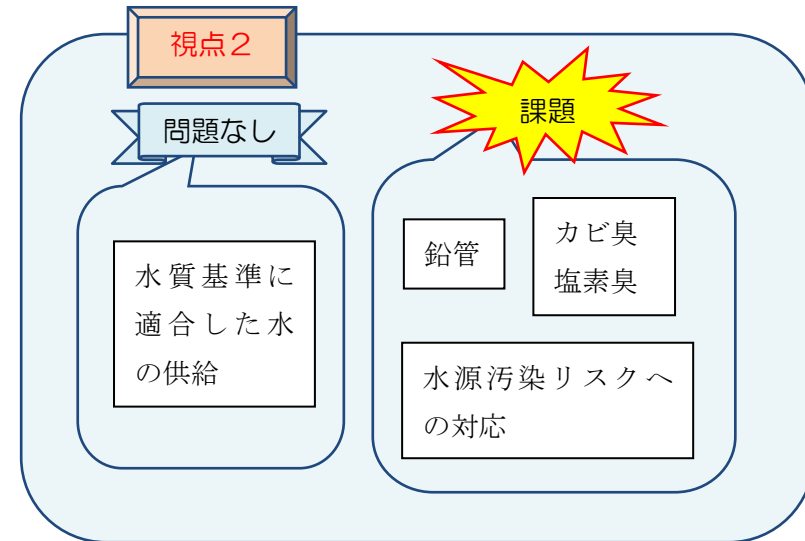
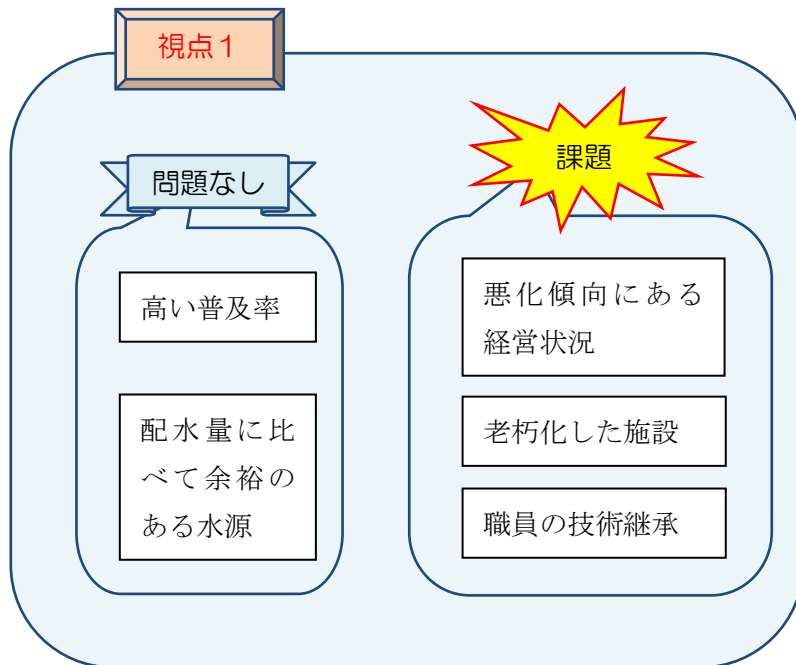
Ⅲ. 事業の現状分析と課題

分析にあたっての3つの視点

視点1：水道サービスの持続性は確保されているか（持続）

視点2：安全な水の供給は保証されているか（安全）

視点3：危機管理への対応は徹底されているか（強靱）



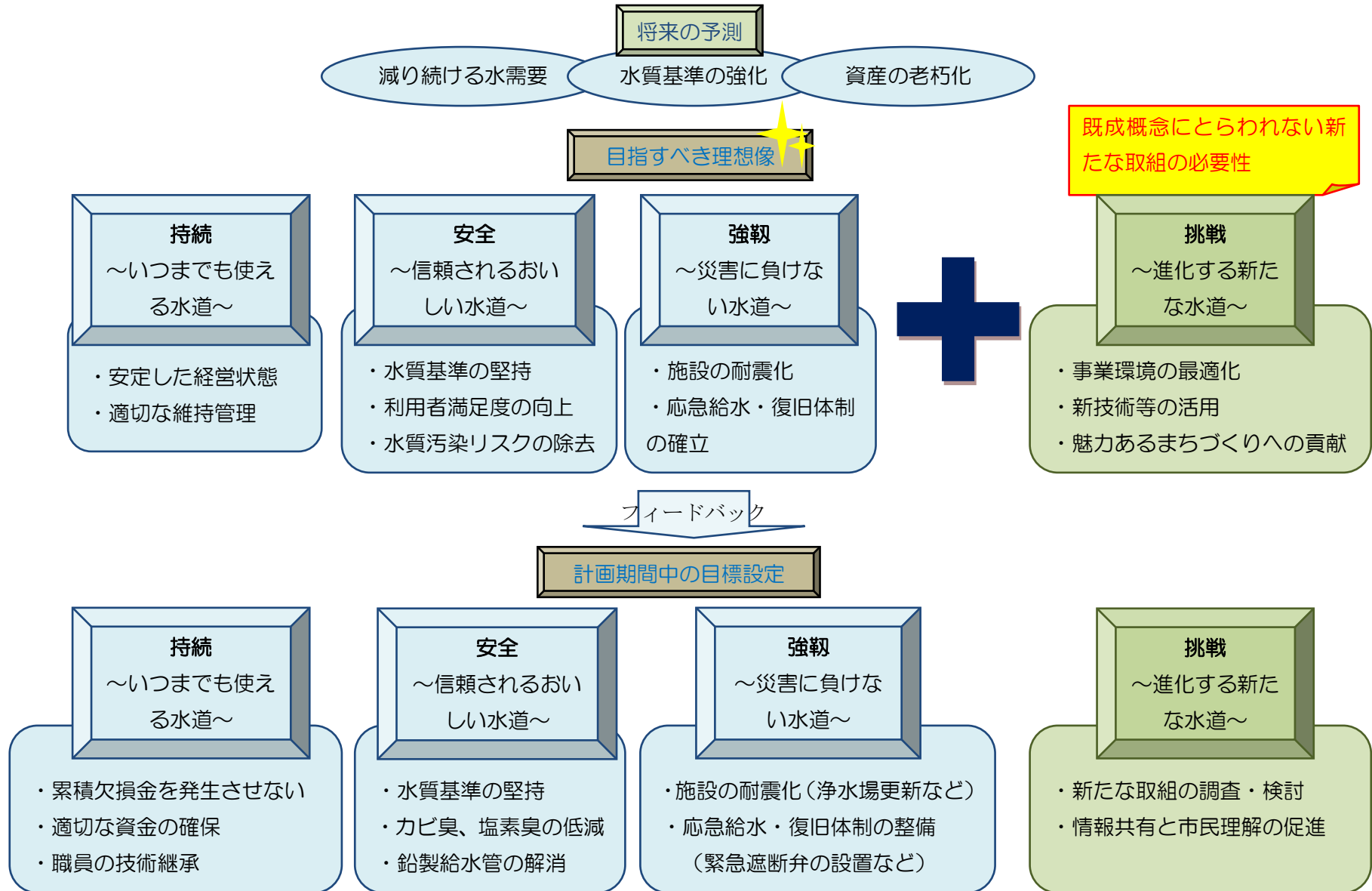
市民の声

おいしくない
臭いが気になる
本当に安全？
災害に備えて

その他

収入は減っているのに
30年以上同じ料金

IV. 本市水道事業の目指すべき理想像と目標



V. 目標実現に向けて取り組むべき施策

持続（経営基盤の強化と適正な料金水準の設定）

アセットマネジメントの実施結果

- ・ 40年間で500億円の投資が必要
- ・ 40年後には340億円の累積欠損金
- ・ 40年間で350億円の資金不足
- ・ 40年後には料金が3.4倍

今後の課題

- ・ 施設の長寿命化、ダウンサイジング
- ・ 一般会計の負担の見直し
- ・ 料金改定

経営戦略の策定と推進

- ・ 浄水場のダウンサイジング
- ・ 隔月検針の導入
- ・ 他会計余剰金の借入による利子軽減等の実施

実施しても

単年度赤字と
累積欠損金の
発生

料金改定の必要あり

（収支見直しは
平成31年度に
20%の値上げ）

安全（水質の維持と市民の満足する水の提供）

水安全計画の策定

水道水の危害となる要素の抽出とそれに対する具体的な対策を定める

原水水質の監視強化

河川管理者である国等との連携

カビ臭への対策

粉末活性炭注入設備の整備

塩素臭への対策

配水池などに塩素追加注入設備を整備

耐塩素性病原生物への対策

適切な検査と施設整備

鉛製給水管の解消

平成32年度までに鉛製給水管を解消

強靱（着実な施設の更新・耐震化と応急給水・復旧体制の整備）

水道施設耐震化計画の策定

施設耐震化は長期にわたるため、優先順位をつけ計画的に実施する

浄水場の更新

浄水場を耐震性を有する施設に更新

配水池の耐震化

主要な配水池の耐震診断

管路更新の推進

基幹管路や重要給水施設配水管の耐震化の推進、石綿セメント管の更新

挑戦（関係機関等との連携・調整と広報活動等の充実）

規制緩和等に向けた提言

業務改善に向けての提案や要望の実施

近隣事業者等との連携

業務の共同化や広域化に向けて近隣事業者
や他のライフライン事業者と調査、検討

他部局との連携

市の他部局と連携し、効率化の推進や魅力
あるまちづくりの推進

広報活動等の充実

市広報紙やテレビ広報番組、イベントへの
出展を通じた広報活動の充実

ビジョンの目標実現には、市民の皆様のご理解とご支援が必要不可欠です。

ご協力をよろしくお願いいたします。

